

フレ岳(1046m) 手強かった登り5時間20分

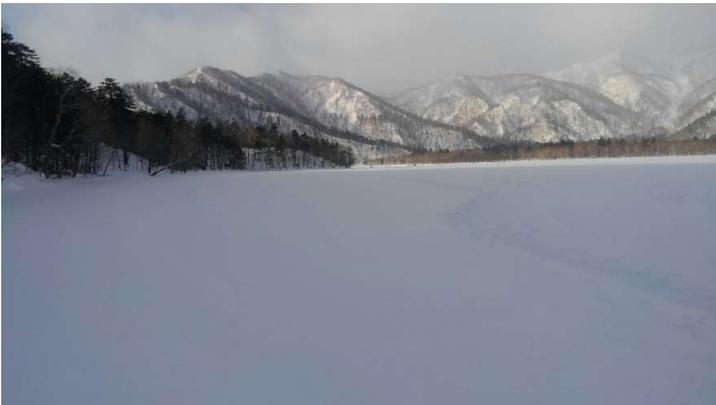
2024(令和6)年2月12日(月・振替休日)

CL: N沼、L: AND、SL: 0371、記録: SW田、会計L: SG田、会計SL: O田、メンバー: U田、US美 計8人
登山口 7:45 オコタンペ湖 8:45 フレ岳頂上 12:55 休憩後 15:40 下山終了。登り5時間20分 下山2時間
累積標高 800m、往復距離 約15km

全員初めてフレ岳登山。記録者がオコタンペ湖を渡るのは2回目で登別山岳会は長らくオコタンペ湖に縁がなかった。全員スノーシュー。山スキーだと急斜面の直登は大変だし、下山も滑るところがほとんどなく、木も邪魔でスノーシューに適している。いつもの駐車場は工事車両が停まっていたり停めるところがなく、入口手前の広場は満杯で辛うじて停めることができた。



人気の山らしく2人のカップルが2組、単独行の登山者と行き会った。湖にはワカスギ釣りなのか数人のグループが湖上にたむろしていた。



オコタンペ湖は最大水深20mあるという。氷の状態に緩いところがなく、氷に厚みがありしっかりと凍っていた。氷が割れて落ちて低体温症になるかもと心配しながら湖面を横断した。



湖畔を過ぎて、急な斜面を延々と登る。



↓フレ岳山頂。右は振丁（ふれてい）山頂



↑山頂はまだ遠い。



↓オコタンペ湖から見る恵庭岳



←見事な穴はクマゲラか



遅い昼食は0371さん制作の雪洞の中で↑
0371さんは養生中の身でしばし待機。



湖を渡る不安な人にロープを装着↓



天気の良い1日だった。下山の斜面の尻滑りは「キヤー」「オオ!」「楽しい!」と声をあげながら下った。オコタンペ湖の冬は美しく、快適な湖面渡りだった。記録者は今季初めてのスノーシューで、8時間近い登りと下りは山スキーと違う筋肉を使うようで車に乗り込むときに足腰にこわばりが出ていた。リーダーの山行計画と山行の際の気遣い、メンバーの皆さんに感謝します。ありがとうございました。

(記録と文：SW田 写真提供：U田、SG田、0371)